

重要

教職履修カルテ 入力マニュアル

◇今年の入力期間

2026年9月26日（土）9：00～9月30日（水）17：00（厳守）

◇来年以降の入力期間

3月中旬の秋学期成績通知日～4月30日 17：00

＜履修カルテ入力時期＞

	1月	2月	3月	新年度/4月
1年次				1年目の内容を入力
2年次				2年目の内容を入力
3年次				3年目の内容を入力
4年次	4年目の内容を入力			

一般登録期間後に入力

秋学期成績通知以降に入力

目 次

1.はじめに

- (1) 教職課程履修カルテについて p.3
- (2) 教職実践演習について p.4

2.履修カルテの入力について

- (1) 入力上の注意 p.5
- (2) e-class での作成方法 p.5

3.詳細な入力方法・内容について

- (1) 教職関連科目 pp.7～8
- (2) 介護等体験 pp.9～10
- (3) 教育実習 pp.11～12
- (4) その他（学校ボランティア、教育インターンシップ等）
. pp.13～14
- (5) 自己評価（○年目） pp.15～20

Ⅰ. はじめに

(Ⅰ) 教職課程履修カルテについて

【作成の目的】

同志社大学卒業の教員としての自覚を持ち、自らが教員になるための最小限必要な資質能力を持つため、自らの不足している知識を認識し補い克服するとともに、自らの長所を客観的に評価し伸ばすことができるようになることを目的とする「教職実践演習（中・高）」での指導をより効果的なものとするために、学生の教職課程全体をとおとしての学習内容や課題を担当教員が把握することを目的としています。また、教職課程履修カルテ（以下、教職履修カルテ）を作成することにより、学生が自分自身で教職課程を振り返り、教員になるために必要な事柄を把握してそれに向かって努力を行っていくことを期待するものでもあります。

【内容】

教職履修カルテの内容は下記の通りです。

教職課程履修Ⅰ年目から教員免許取得まで、e-classにて継続して作成します。

① 「教職関連科目」シート

⇒毎年度3月中旬の成績通知日から4月末までの間に、単位修得した科目名等を入力

② 「介護等体験」シート

⇒介護等体験終了後に、学んだことや課題等を随時入力

③ 「教育実習」シート

⇒教育実習終了後に、学んだことや課題等を随時入力

④ 「その他（学校ボランティア、教育インターンシップ等）」シート

⇒入力すべき事項ができた時に随時入力

⑤ 「自己評価（〇年目）」シート

⇒毎年度3月中旬の成績通知日から4月末までの間に、対象年度の自己評価票の各設問への回答と1年の振り返り等を入力

介護等体験や教育実習は正課ですが、これに伴う事前指導も当然ながら正課扱いとなります。したがって、「介護等体験事前指導レポート（中一種免のみ）」、「介護等体験事後レポート（中一種免のみ）」、「教育実習希望者説明会レポート」、「教育実習事前指導レポート」の作成が必要となり、これらすべてを含めて履修カルテが完成します。

(2) 教職実践演習について

【科目の趣旨】

2006年7月の中央教育審議会答申（「今後の教員養成・免許制度の在り方について」）において、「教職課程の質的水準の向上」を目的として大学において「教職実践演習」の新設・必修化が提言されました。これをうけて、2008年3月に「教育職員免許法施行規則」が改正され、本学においても2010年度入学生より「教職実践演習（中・高）」（秋学期後半：2単位）が必修となりました。この科目は「教員として最小限必要な資質・能力を確実に身に付け、またそのことを確認する」科目であり、教職課程における「総まとめ」の科目として位置づけられます。

【同志社大学における教職実践演習の概要】

① 開講時期

4年次秋学期後半に開講します。「教育実習指導」と「教職実践演習（中・高）」は同じ曜日・講時に開講されます。授業は2コマ連続で行う予定です。

② 授業形態

履修者数50人程度で演習形式が中心となりますが、他のクラスと合同での講義を行うこともあります。

③ 授業内容

教職課程の総まとめとして、これまでの教職課程の履修をふりかえることにより、自らの不足している教員としてのスキルを認識したうえで、教員として必要な資質能力とは何かを考えます。

また、同志社大学卒業の教員、出身学部卒業の教員としての強みとはなにかを考え、これから教員になるにあたり自らの目指すべき理想の教員像や克服すべき課題を明確にします。

④ 履修登録

4年次（教育実習実施年度）の教職科目の履修登録の際に行います。

⑤ その他

「教育実習 B/C」、「教育実習指導」、「教職実践演習（中・高）」の履修登録を行うためには、次に説明する「教職履修カルテ」の作成が必須となります。これらの科目の履修年度の4月初めにおいて教職履修カルテが未記入の場合、これらの科目の履修は認められません。

2. 教職履修カルテの入力について

(1) 入力上の注意

教職履修カルテは、同志社大学の e-class システムを利用して、入力する仕組みになっています。

Web の利用にあたっては、ネットワーク利用資格認定試験に合格する必要があります。

入力にあたっては、本学発行のユーザ ID とパスワードが必要になります。

履修カルテは、指定された期間に、指定された項目全てを、必ず記入するようにしてください。履修カルテに記入を行った日時はシステム上に記録されます。

教職実践演習の履修年度（通常は4年次）の4月初めにおいて、教職履修カルテが未記入の場合、教職課程履修の意志がないものとみなし、「教職実践演習（中・高）」、「教育実習指導」、「教育実習」の履修が認められないことがあります。

(2) e-class での作成方法

①以下から e-class にログインしてください。

Web シングルサインオン

<https://sso.doshisha.ac.jp>

または e-class トップイメージ>教員・在学生の方

<https://eclass.doshisha.ac.jp/toppage/index.html>

ログインすると下記の画面が表示されます。

②履修カルテへログインするには、下記の表示をクリックします。



下記の画面が教職履修カルテ入力画面になります。

教職履修カルテ

学生情報

プロフィール編集

ユーザID	doshisha_shu_demo_user1
氏名	doshisha_shu_demo_user1
学部	
学科	
研究科	
専攻	
取得希望教科	

エクスポート印刷用画面

Summary

Index

教職関連科目

介護等体験

教育実習

その他活動（学校ボランティア、教育インターシップ等）

介護等体験／教育実習の事前指導レポート

自己評価（1年目）

自己評価（2年目）

自己評価（3年目）

自己評価（4年目）

教職関連科目

更新日時: 2025-0

介護等体験

更新日時: 2025-0

教育実習

更新日時: 2025-

その他活動（学校ボランティア、教育インターシップ等）

更新日時: 未入力

介護等体験／教育実習の事前指導レポート

更新日時: 未入力

自己評価（1年目）

更新日時: 2025-09-25

自己評価（2年目）

更新日時: 2025-09-25

自己評価（3年目）

更新日時: 2025-09-25

自己評価（4年目）

更新日時: 2025-09-25

【必須】毎年度末に入力

【必須】入力できる事項ができた時に随時入力
※高一種免のみ取得者は介護等体験シートの入力は不要

【任意】入力できる事項ができた時に随時入力

【入力不要】（事務室が Upload）

【必須】毎年度末に入力

3. 詳細な入力方法・内容について

(1) 教職関連科目 ※毎年度末に入力が必要

『教職関連科目』シートをクリックし、各項目を入力します。

こちらは対象科目を修得した後に入力してください。基本的には毎年度3月中旬の成績通知日から4月末までの間に必ず入力してください。

下記の画面が『教職関連科目』の入力画面になります。

画面下の『編集』をクリックすることで編集が可能になります。

教職関連科目

更新日時:2025-09-30 13:48:57

編集

1. 教職専門科目の履修状況

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2	2022	必修
	教職概論	2	2022	必修
	教育制度と学校経営	2	2024	1科目以上選択必修
	学校教育社会学	2	2024	
	人権教育論	2	2022	必修

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	英語科教育法Ⅰ	2	2023	
	英語科教育法Ⅱ	2	2023	
	英語科教育法Ⅲ	2	2024	
	英語科教育法Ⅳ	2	2024	

※修得した科目を記入してください

下記の画面が編集画面です。

修得した対象科目について「単位数」と「修得年度」を入力してください。

未修得の科目については入力不要です。

※「教科及び教科の指導法に関する科目」の入力欄には限りがあります。任意で結構ですので、必修科目から入力可能なだけ入力してください。

全ての入力が終わったら、「保存」ボタンを押してください。「キャンセル」ボタンを押すと、更新前の状態に戻りますので必要な場合のみ押してください。

教職関連科目

更新日時:2025-09-30 13:48:57

保存

キャンセル

1. 教職専門科目の履修状況

法令上の区分	科目名	単位数	修得年度	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2	2022	必修
	教職概論	2	2022	必修
	教育制度と学校経営	2	2024	1科目以上選択必修
	学校教育社会学	2	2024	
	人権教育論	2	2022	必修

「単位数」と「修得年度」を入力

「保存」ボタンをクリック

(2) 介護等体験 ※介護等体験が終了した後に入力

『介護等体験』シートをクリックし、各項目を入力します。

こちらは介護等体験が終了した後に随時入力してください。

※高一種免のみ取得者は介護等体験シートの入力は不要です。



下記の画面が『介護等体験』シートの入力画面になります。

画面下の『編集』をクリックすることで編集が可能になります。

介護等体験

更新日時: 2025-09-22 18:59:34

編集

※小学校プログラムまたは 中一権免履修者のみ記入

体験先		備考
〇〇支援学校	2024/07/01 ～ 2024/07/02	
××老人ホーム	2024/09/16 ～ 2024/09/20	

介護等体験で学んだこと、今後の課題

……………について学ぶことができた。
 今後は……………が必要である。

編集

《前へ Index 次へ》

下記の画面が編集画面です。

「体験先」、「期間」、「介護等体験で学んだこと、今後の課題」を入力してください。
全ての入力が終わったら、「保存」ボタンを押してください。「キャンセル」ボタンを押すと、更新前の状態に戻りますので必要な場合のみ押してください。

介護等体験

更新日時:2025-09-22 18:59:34

保存 キャンセル

※小学校プログラムまたは 中一 履修者のみ記入

体験先	期間	備考
〇〇支援学校	2024/07/01 ~ 2024/07/02	
××老人ホーム	2024/09/16 ~ 2024/09/20	

介護等体験で学んだこと、今後の課題

.....について学ぶことができた。
今後は.....が必要である。

保存 キャンセル

《前へ》 Index 次へ》

「体験先」と「期間」を入力

「介護等体験で学んだこと、今後の課題」を入力

「保存」ボタンをクリック

(3) 教育実習 ※教育実習が終了した後に入力

『教育実習』シートをクリックし、各項目を入力します。

こちらは教育実習が終了した後に随時入力してください。

Summary

教職関連科目

介護等体験

教育実習

その他活動（学校ボランティア、教育インターンシップ等）

Index

教職関連科目
更新日時: 2025-09-30

介護等体験
更新日時: 2025-09-30

教育実習
更新日時: 2025-09-22

『教育実習』シートをクリック

下記の画面が『教育実習』シートの入力画面になります。

画面下の『編集』をクリックすることで編集が可能になります。

教育実習

更新日時: 2025-09-22 19:03:24

編集

※小学校プログラムで参加した教育実習がある方は記入

『編集』をクリックして編集画面に進みます

実習校	実習期間	実習教科	備考
〇〇市立××中学校	2025/06/02	英語	
	~		
	2025/06/20		
	~		

教育実習で学んだこと、今後の課題

……について学ぶことができた。
 今後は……が必要である。

編集

《前へ Index 次へ》

下記の画面が編集画面です。

「実習校」、「実習期間」、「実習教科」、「教育実習で学んだこと、今後の課題」を入力してください。

全ての入力が終わったら、「保存」ボタンを押してください。「キャンセル」ボタンを押すと、更新前の状態に戻りますので必要な場合のみ押してください。

教育実習

更新日時:2025-09-22 19:03:24

保存 キャンセル

※小学校プログラムで参加した教育実習がある方は記入してください

実習校	実習期間	実習教科	備考
〇〇市立××中学	2025/06/02 ~ 2025/06/20	英語	

教育実習で学んだこと、今後の課題

.....について学ぶことができた。
今後は.....が必要である。

保存 キャンセル

《前へ Index

「実習校」、「実習期間」、「実習教科」を入力

「保存」ボタンをクリック

「教育実習で学んだこと、
今後の課題」を入力

(4) その他活動（学校ボランティア、教育インターンシップ等）

※入力すべき事項ができた時に入力

本学での教員採用試験対策講座受講、学校ボランティア、学校インターンシップ、学習支援員、部活動の指導、スクール・インターンシップの履修、京都教師塾への参加など、授業以外で教職に関連する活動を行った場合に随時入力してください。このような活動を積極的に行うことが望ましいですが、入力すべき事項がない場合は空欄のままで構いません。

The screenshot shows a sidebar menu with the following items: Summary, 教職関連科目, 介護等体験, 教育実習, and その他活動（学校ボランティア、教育インターンシップ等）. The last item is highlighted with a red dashed box. A callout bubble points to this item with the text: 『その他活動（学校ボランティア、教育インターンシップ等）』シートをクリック

下記の画面が『その他活動（学校ボランティア、教育インターンシップ等）』シートの入力画面になります。画面下の『編集』をクリックすることで編集が可能になります。

その他活動（学校ボランティア、教育インターンシップ等）

The screenshot shows the input screen for 'その他活動'. At the top, it says '更新日時: 2025-11-03 16:52:28'. Below this is a red dashed box around the '編集' button, with a callout bubble pointing to it that says: 『編集』をクリックして編集画面に進みます. Below the button is a note: ※該当する活動がある方のみ記入. The main part of the screen is a table with the following structure:

活動先	活動期間	内容	備考
京都市立〇〇小学校	2025/04/01 ～ 2025/09/30	学校ボランティア	
	～		

Below the table, there is a blue bar with the text: その他活動（学校ボランティア、教育インターンシップ等）で学んだこと、今後の課題. Underneath this bar is a note: 〇〇が苦手な生徒に対して、教員の指導のもと、授業補助を行った.

At the bottom of the screen, there is a '編集' button and three navigation buttons: 『前へ』, Index, and 『次へ』.

下記の画面が編集画面です。

活動内容を入力してください。全ての入力が終わったら、「保存」ボタンを押してください。「キャンセル」ボタンを押すと、更新前の状態に戻りますので必要な場合のみ押してください。

その他活動（学校ボランティア、教育インターンシップ等）

更新日時:2025-11-03 16:52:28

※該当する活動がある方のみ記入

活動先	活動期間	活動内容
京都市立〇〇小	2025/04/01 ~ 2025/09/30	学校ボランティア

その他活動（学校ボランティア、教育インターンシップ等）で学んだこと、今後の課題

〇〇が苦手な生徒に対して、教員の指導のもと、授業補助を行った。

「保存」ボタンをクリック

「その他活動（学校ボランティア、教育インターンシップ等）」を入力

(5) 自己評価（〇年目） ※毎年度末に入力が必要

対象年度の『自己評価（〇年目）』シートをクリックし、各項目を入力します。

こちらは毎年度入力が必要です。基本的には毎年度3月中旬の成績通知日から4月末までの間に必ず入力してください。

対象年度の自己評価（〇年目）シートをクリック

下記の画面が『自己評価（〇年目）』シートの入力画面になります。

『編集』をクリックすることで編集が可能になります。

『編集』をクリックして編集画面に進みます

自己評価（1年目）
更新日時: 2025-09-25 11:13:31
アドバイザーの更新日時: 2025-08-07 17:06:01

編集

履修年度
2022
(2025-09-22 19:08:02 [doshisha_shu_demo_user])

(回答にあたって)
本学における関係の深い科目の履修有無にかかわらず、各設問には回答してください。
なお、1・2年次生の間は教職の履修できる科目が少ないので、十分に学びができていない項目があるのは当然です。
この自己評価は学生自身が自らの立ち位置を把握することが目的です。官仲びをして高い数字（評価）をつけようとする必要は決してありません。
ここで入力した自己評価の点数が、最終年次で履修をする「教職実践演習（中・高）」の成績評価等に反映されることはありません。

学校教育についての理解	1.全くそう思わない	2.そう思わない	3.ややそう思う	4.そう思う	5.とてもそう思う
【教職の意義】 教職の意義や教員の役割、職務内容を理解している (本学における関係の深い科目:「教職概論」・「教職実践演習（中・高）」)			◆		
【教職の意義】 教員の子どもに対する責任・義務を理解している (本学における関係の深い科目:「教職概論」・「教職実践演習（中・高）」)			◆		
【教育の理念・教育史・思想の理解】 教育の理念、教育の歴史に関する基礎知識を習得している (本学における関係の深い科目:「教育原理」・「教職実践演習（中・高）」)			◆		
【学校教育の社会的・制度的・経済的・法的理解】 学校教育の社会的・制度的・経済的側面に関する基礎知識を習得している (本学における関係の深い科目:「教育制度と学校経営」・「学校教育社会学」) (2025-09-25 11:13:31 [doshisha_shu_demo_user1])			◆		
生徒についての理解					
【心理・発達論的な子ども理解】 子ども理解のために必要な心理や発達に関する基礎知識を習得している (本学における関係の深い科目:「発達と学習の心理学」・「教職実践演習（中・高）」)			◆		
【学習集団の形成】 学習集団づくりに必要な基礎知識を習得している (本学における関係の深い科目:「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」・「教職実践演習（中・高）」)			◆		

下記の画面が編集画面です。

対象となる「履修年度」を入力してください。

自己評価票の各設問には「1.全くそう思わない」～「5.とてもそう思う」のラジオボタンを選択して回答してください。

本学における関係の深い科目の履修有無にかかわらず、各設問には回答してください。

なお、1・2年次生の間は教職の履修できる科目が少ないので、十分に学びができていない項目があるのは当然です。

この自己評価票は学生自身が自らの立ち位置を把握することが目的です。背伸びをして高い数字（評価）をつけようとする必要は決してありません。

ここで入力した自己評価の点数が、最終年次で履修をする「教職実践演習（中・高）」の成績評価等に反映されることはありません。

また、その年度に「1.全くそう思わない」「2.そう思わない」と感じた項目については、次年度以降に改善されるように自分自身で意識しながら授業やその他の活動に取り組むように心掛けてください。

《前へ

Index

次へ》

自己評価（1年目）

更新日時:2025-09-25 11:13:31

アドバイザー欄の更新日時:2025-08-07 17:06:01

保存

キャンセル

履修年度

2022

この項目は整数のみ入力できます。

(2025-09-22 19:08:02 [doshisha])

(回答にあたって)

本学における関係の深い科目の履修有無にかかわらず、各設問には回答してください。

なお、1・2年次生の間は教職の履修できる科目が少ないので、十分に学びができていない項目があるのは当然です。この自己評価票は学生自身が自らの立ち位置を把握することが目的です。背伸びをして高い数字（評価）をつけ、ここで入力した自己評価の点数が、最終年次で履修をする「教職実践演習（中・高）」の成績評価等に反映され

履修年度を入力

ラジオボタンを選択して
全ての設問に回答

学校教育についての理解

【教職の意義】

教職の意義や教員の役割、職務内容を理解している

(本学における関係の深い科目:「教職概論」・「教職実践演習(中・高)」)

【教職の意義】

教員の子どもに対する責任・責務を理解している

(本学における関係の深い科目:「教職概論」・「教職実践演習(中・高)」)

【教育の理念・教育史・思想の理解】

教育の理念、教育の歴史に関する基礎知識を習得している

(本学における関係の深い科目:「教育原理」・「教職実践演習(中・高)」)

【学校教育の社会的・制度的・経営的理解】

学校教育の社会的・制度的・経営的側面に関する基礎知識を習得している

(本学における関係の深い科目:「教育制度と学校経営」・「学校教育社会学」)

☐ 1.全くそう思わない	☐ 2.そう思わない	☐ 3.ややそう思う	☐ 4.そう思う	☒ 5.とてもそう思う
☐ 1.全くそう思わない	☐ 2.そう思わない	☐ 3.ややそう思う	☐ 4.そう思う	☒ 5.とてもそう思う
☐ 1.全くそう思わない	☐ 2.そう思わない	☒ 3.ややそう思う	☐ 4.そう思う	☐ 5.とてもそう思う
☐ 1.全くそう思わない	☐ 2.そう思わない	☒ 3.ややそう思う	☐ 4.そう思う	☐ 5.とてもそう思う

対象年度についての「1年の振り返り」を文章で入力してください。
 全ての入力が終わったら、「保存」ボタンを押してください。「キャンセル」ボタンを押すと、更新前の状態に戻りますので必要な場合のみ押してください。

＜保存した内容を修正する場合＞

上書き形式になりますので、修正したい内容を再度入力します。修正しない箇所は何も編集せずに更新してください。修正後は必ず保存ボタンを押してください。押さずに終了すると記入した内容が失われます。

The screenshot shows a web form for evaluation. It includes sections for '課題認識と探究心' (Understanding of the problem and inquiry), '教育時滞問題' (Educational delay problem), and '1年の振り返り' (Reflection on the year). The '1年の振り返り' section is highlighted with a red dashed box. Below this is a section for '教員のコメント' (Teacher's comment), also highlighted with a red dashed box. At the bottom, there are buttons for '保存' (Save), 'キャンセル' (Cancel), and '前へ' (Previous). Annotations include a callout pointing to the '1年の振り返り' section with the text '対象年度についての「1年の振り返り」を文章で入力' (Enter the reflection for the target year in text), and another callout pointing to the '保存' button with the text '「保存」ボタンをクリック' (Click the 'Save' button). A third callout points to the '教員のコメント' section with the text '入力期間後に、教員がコメントしますので、定期的を確認してください' (After the input period, the teacher will comment, so please check regularly).

【自己評価シートに関する補足】

本学での「教育の基礎的理解に関する科目」、「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」は、それぞれ授業を通して身につけてもらいたい能力や理解してもらいたい知識などがあっておかれているものです。その本学での科目と自己評価票の評価項目を対応させたのが18～20ページの表になります。成績通知書と免許の履修要項と照らし合わせながら、自身の教職課程の履修が今どの状況になるのか確認して、1年間の振り返りをしてください。

対応する科目を未履修の場合は「1.全くそう思わない」を選ばなければならないというわけではなく、学校ボランティアや学校インターンシップなど、課程外の活動等を通して学んだ事項も含めて評価をしても構いません。

必要な資質能力の指標と本学における対応する主な科目は次のとおりです。自己評価を行う際の目安にしてください。

項目	指標	本学における関係の深い科目
学校教育についての理解	【教職の意義】 教職の意義や教員の役割、職務内容を理解している	「教職概論」・「教職実践演習（中・高）」
	【教職の意義】 教員の子どもに対する責任・責務を理解している	「教職概論」・「教職実践演習（中・高）」
	【教育の理念・教育史・思想の理解】 教育の理念、教育の歴史に関する基礎知識を習得している	「教育原理」・「教職実践演習（中・高）」
	【学校教育の社会的・制度的・経営的理解】 学校教育の社会的・制度的・経営的側面に関する基礎知識を習得している	「教育制度と学校経営」 「学校教育社会学」
生徒についての理解	【心理・発達論的な子ども理解】 子ども理解のために必要な心理や発達に関する基礎知識を習得している	「発達と学習の心理学」 「教職実践演習（中・高）」
	【学習集団の形成】 学習集団づくりに必要な基礎知識を習得している	「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」 「教職実践演習（中・高）」
	【子供の状況に応じた対応】 いじめ・不登校・特別支援教育など、個々の子どもの特性や状況に応じるための基礎知識を習得している	「発達と学習の心理学」・「特別ニーズ教育論」 「教育相談の理論と方法」 「教職実践演習（中・高）」
他者との協力	【他者意見の受容】 他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができる	「教育実習」 「教職実践演習（中・高）」
	【保護者・地域との連携協力】 保護者や地域との連携・協力の重要性を理解している	「教育制度と学校経営」 「生徒・進路指導の理論と方法」
	【共同授業実施】 他者と共同して授業を企画・運営・展開することができる	「教育実習」・「教育実習指導」 「教職実践演習（中・高）」
	【他者との連携・協力】 集団において、他者と協力して課題に取り組むことができる	「教育実習」・「教育実習指導」 「教職実践演習（中・高）」
	【役割遂行】 集団において、率先して自らの役割を見ついたり、与えられた役割をきちんとこなすことができる	「教育実習」・「教職実践演習（中・高）」
コミュニケーション	【発達段階に対応したコミュニケーション】 子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができる	「発達と学習の心理学」 「生徒・進路指導の理論と方法」 「教育相談の理論と方法」 「教職実践演習（中・高）」

	【子どもに対する態度】 気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができる	「教育相談の理論と方法」 「生徒・進路指導の理論と方法」 「教職実践演習（中・高）」
	【公平・受容的態度】 子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができる	「生徒・進路指導の理論と方法」 「道徳教育の理論と実践」 「教育相談の理論と方法」
	【社会人としての基本】 挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身に付いている	「教育原理」・「教科教育法」 「教職実践演習（中・高）」・ 「教育実習指導」
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	【教科】 専門とする教科教育の内容について理解している	「F 欄の教科に関する科目」・「教科教育法」 「教職実践演習（中・高）」
	【教科書・学習指導要領】 教科書や学習指導要領の内容について理解している	「教科教育法」・「教職実践演習（中・高）」
	【教育課程の編成に関する基礎理論・知識】 教育課程の編成に関する基礎知識を習得している	「教育課程論」
	【道徳教育・特別活動】 道徳や特別活動の内容および指導法について基礎知識を習得している	「道徳教育の理論と実践」 「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」
	【総合的な学習の時間】 「総合的な学習の時間」の内容および指導法について基礎知識を習得している	「教育方法と ICT 活用の理論と実践」
	【情報通信技術の活用】 ICT 機器の活用に関する基礎知識を習得している	「教育方法と ICT 活用の理論と実践」
	【学習指導法】 学習指導法に関する基礎的な理論や知識を習得している	「教育方法と ICT 活用の理論と実践」 「教科教育法」
教育実践	【教材分析能力】 使用する教材について分析することができる	「教科教育法」 「教育実習指導」・「教育実習」
	【授業構想力】 教材研究に基づき、子どもの反応を想定した指導案を構想できる	「教科教育法」・「教職実践演習（中・高）」 「教育実習指導」・「教育実習」
	【教材開発力】 教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができる	「教科教育法」・「教職実践演習（中・高）」 「教育実習指導」・「教育実習」
	【授業展開力】 子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができる	「教科教育法」・「教職実践演習（中・高）」 「教育実習指導」・「教育実習」

	【表現技術】 板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けている	「教科教育法」・「教職実践演習（中・高）」 「教育実習指導」・「教育実習」
	【学級経営力】 学級経営案を作成することができる	「教職実践演習（中・高）」・ 「教育実習」
課題探求	【課題認識と探究心】 自己の課題を認識し、その解決において、学び続ける姿勢を持っている	「教職実践演習（中・高）」
	【教育時事問題】 学校教育に関する新たな問題に関心を持ち、最新の情報を収集しようとしている	「学校教育社会学」 「教科教育法」

◎免許・資格に関する連絡

【掲示板】今出川校地：良心館1階掲示板

京田辺校地：知真館2号館202教室横掲示板

【免許資格課程センターHP】

<https://license.doshisha.ac.jp/>



◎免許資格課程センター事務室 連絡先

今出川校地：良心館1階 今出川キャンパス教務センター内
 (Tel 075-251-3208)

京田辺校地：成心館1階 京田辺キャンパス教務センター内
 (Tel 0774-65-7048)